

2022 年 10 月 24 日

当院に入院され骨盤臓器脱の手術を受けられた患者様へ

「骨盤臓器脱に対する経腔的修復手術（NTR(Native Tissue Repair)）の臨床的検討」

当院では、骨盤臓器脱に対して経腔的修復手術（NTR）を受けられた患者様の診療情報を用いた研究を実施しております。

この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、患者様のプライバシー保護につきましては、法令等を遵守して研究を行います。

本研究への参加を拒まれた場合でも、今後の治療を受ける上で不利な扱いを受けることは決してありません。また、研究に参加することを同意された場合でも、随時これを撤回することができます。同意を撤回する旨の申し出を受けた場合は、遅滞なく研究のデータベースから患者様に関する情報を削除いたします。

資料・情報につきまして、本研究への利用を望まれない場合は、下記研究責任者にご連絡ください。

【研究目的】

骨盤臓器脱の治療法として、保存的治療、手術療法があります。手術療法における術式としては、生来の組織を用いた経腔的修復法（NTR）、経腔メッシュ法（TVM）、腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC）の主に 3 つの術式があり、それぞれの術式にメリット、デメリットがあります。

近年は、腹腔鏡手術の普及に伴い、LSC を導入する施設が散見されるようになり、LSC が NTR や TVM に勝るとする報告が見られますが、NTR に関する具体的な臨床的報告がほぼ認められない現状です。

そこで我々は、当院婦人科で 2014 年 03 月以来一貫して施行してきた NTR 症例をレビューし、NTR の臨床的検討により当術式について検証することを目的としております。

【研究対象者】

2014 年 03 月 01 日以降に南多摩病院婦人科に入院し、骨盤臓器脱に対して NTR を受けられた方を対象とします。

【研究に使用する情報】

年齢、妊娠分娩歴、BMI、閉経年齢、既往歴、主訴、診断と進行度、前治療の有無、術式、手術時間、出血量、入院日数、周術期合併症、術後再燃の時期と有無、摘出子宮腔長・病理組織所見、骨盤臓器脱の家族歴につき、得られたデータに基づいて解析を行います。

【個人情報の取り扱い】

個人を特定する情報につきましては匿名化して解析に利用されます。

【本研究の資金源（利益相反）】

利益相反状態とは、「研究結果の判断に利害が発生し、結果の判断に歪みがおこりかねない状態」をさします。本研究では、研究費等は発生しないため、このような利益相反の状態になることはありません。

【問い合わせ先】

研究責任者：医療法人社団 永生会 南多摩病院 婦人科 紀 美和

住所：〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-10-1

電話番号：042-663-0111

以上